

このたびは GIANT WheelSystems をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に本書をよくお読みになり、本製品の機能を十分に理解し、安全にご活用ください。

#### 重要:

本取扱説明書は安全性、性能および修理に関する情報を含んでいます。

新しいホイールを取りつける前、または初めての走行前に、本取扱説明書をよくお読みください。また、本取扱説明書は大切に保管し必要に応じて参照してください。



- Giant WheelSystems  
ジャイアントホイールシステムの総称
- Giant Tubeless Ready WheelSystems  
チューブレスレディーのホイールシステムの総称
- Giant Tubeless System  
チューブレス化のための部品総称(チューブステープ、チューブレスバルブ、チューブレスシーラント、チューブレスタイヤ等)

#### ⚠ 警告

- 正確に操作し事故を防ぐためにも、下記のホイールの組み付け、取扱い、およびメンテナンスに関する指示に必ず従ってください。これらの指示に従わなかった場合、重傷または死亡にいたる重大な事故を引き起こす可能性があります。
- Giant WheelSystems は自転車での使用を目的として設計されていません。ホイールまたはその構成部品は他の用途、または工具や玩具として、または本マニュアル記載以外の目的に利用することはできません。目的以外の利用については、弊社の品質保証の対象外になります。
- Giant WheelSystems は、チューブレスタイヤ(チューブレスレディ)の使用を前提に設計されており、ジャイアント製チューブレスタイヤまたは、ジャイアント推奨タイヤ(※)と合わせて使用することを強くお勧め致します。ジャイアント推奨以外のチューブレスタイヤとの組み合わせは保証対象外となりますのでご注意ください。  
また、Giant WheelSystems はチューブドタイヤと組み合わせて使用することもできます。チューブドタイヤを使用する際は、チューブとリムテープと共に組付けて下さい。  
いずれの場合も、タイヤとリムの ETRTO 規格が適合することを確認してください。  
※ジャイアント推奨タイヤとは、ジャイアント製タイヤと、ジャイアント完成車に付属するタイヤのことを指します。
- Giant Tubeless Ready WheelSystems は、チューブレスタイヤとともに使用するために設計されています。チューブレスまたはチューブレスレ

ディ用のタイヤ以外では、チューブなしで使用することはできません。

- Giant WheelSystems は、ジャイアント推奨タイヤ(※)と組み合わせることを前提に設計されています。お客様の安全を確保するためにも、品質保証規定をよくお読みの上、ジャイアント推奨タイヤと組み合わせてご使用ください。

※ジャイアントが推奨するタイヤとは、ジャイアント製タイヤと、ジャイアント完成車に付属するタイヤのことを指します。

- ジャイアントが推奨しないブレーキシューやタイヤの使用は、保証対象外となり、また Giant WheelSystems に重大なダメージが及ぶ可能性があります。

### 走行前に

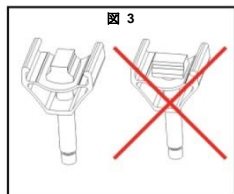
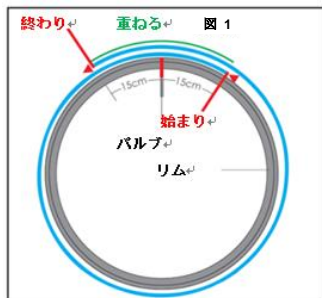
1. ホイールが自転車(フレームやフォークとの隙間など)および他のすべての部品(ブレーキ、タイヤ、チューブ、バルブ、リムテープ)に適合していることを確認してください。
2. ホイールが正しく固定されていないまま乗車すると、重大な事故やけがにつながる恐れがあります。ホイールの組み立ておよびメンテナンスはお買い上げの販売店で行ってください。
3. 本取扱説明書にご不明な点がある場合は、お買い上げのジャイアント正規販売店にご連絡ください。

### 組立

- **Giant Tubeless Ready WheelSystems をチューブレスタイヤとともに使用する場合:**

**▲ 注意:** Giant Tubeless Ready WheelSystem を組み立てるときは、以下の手順を参照してください。Giant Tubeless System はジャイアント正規販売店でご相談の上お買い求めください。

1. チューブレスタイヤを取り付けられるのは、チューブレス対応リムに限ります。
2. Giant Tubeless Ready WheelSystem を組み立てるときは、チューブステープ、チューブレスバルブ、チューブレスシーラント、チューブレスタイヤをご使用ください。リムブレーキを使用する場合、Giant Tubeless System のオンロード用チューブステープを使用してください。
3. チューブステープを取り付けるとき、テープをリムセンターの中心に配置し、テープがバルブ穴の両側で15cmほど重なるようにします(図 1)。
4. 図のように、チューブレスバルブを取り付けます(図 2、図 3 参照)。また付属の Oリングシールが正しい位置にあることを確認します。
5. ロックナットをチューブレスバルブに取り付け、手できつく締めてください(最大 0.5Nm)。工具でロックナットを締めることはお控えください。



最良の走行性能を発揮するために、Giant Tubeless Ready WheelSystem は Giant Tubeless System 製品 (チューブステープ、チューブレスバルブ、チューブレスシーラント、チューブレスタイヤ等) と共にご使用ください。

**▲ 警告:** タイヤの取り付け/取り外しの際はタイヤレバーを使用しないことを推奨します。着脱が困難な場合は、必ず専用に設計されたチューブレスタイヤレバーを使用してください。

**▲ 警告:** チューブレスタイヤと Giant Tubeless Ready WheelSystem をシーラントなしで使用すると、空気が十分に入らなかったり、パンクを修理できない場合があります。

**▲ 警告:** 最良のパンク修理機能を実現するために Giant Tubeless System のシーラントのみを使用してください。

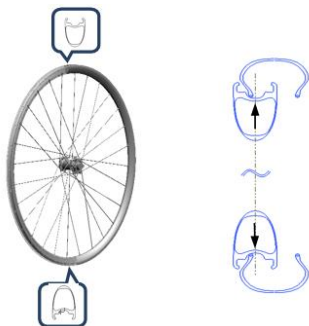
**▲ 警告:** チューブレス対応以外のタイヤをチューブなしで使用した場合、タイヤの破損または急速な空気漏れを招く可能性があり大変危険です。

- **Giant WheelSystem をチューブドタイヤ、チューブおよびリムテープとともに使用する場合**
  1. フレンチバルブ(スモールバルブ、6.5mm 径)のみが Giant リムのバルブ穴に適合します。バルブ穴にドリルで穴を拡大するなどの加工は絶対にしないでください。
  2. ホイールの ETRTO サイズと適合するリムテープ、チューブおよびタイヤのみを使用し、メーカーの推奨に従って取り付けてください。ラテックスチューブは、ブレーキ時に発生する熱により損傷することがあるため使用しないでください。またチューブをご使用の際は、必ずリムテープを取り付けてください。
  3. タイヤの取り付け・取り外しの際は金属製のタイヤレバーを使用しないで下さい。金属製のタイヤレバーはリム表面、チューブまたはタイヤを損傷する可能性があります。
  4. 空気圧: メーカーの推奨する適正空気圧に従ってください。リムの最大空気圧(リムに記載)、およびタイヤ最大空気圧(タイヤの情報を参照)のうち低い方の空気圧を超えて使用しないでください
  5. Shimano®または SRAM®のカセットプロケットをメーカーの推奨に従って取り付けてください。Giant WheelSystem のハブは Campagnolo®のカセットプロケットには対応していません。

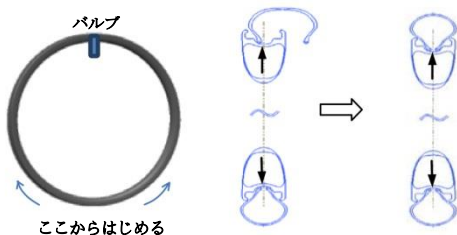
**▲ 注意:** やむをえずタイヤレバーを使用する場合は慎重に作業を行ってください。工具の鋭いエッジや材質によりリムを損傷させる可能性があります。

#### **Giant Tubeless Ready WheelSystem にチューブレスタイヤを取り付ける方法**

1. バルブの反対側から、ホイール右側のタイヤビードをリムセンターに落としこんでいきます 8 割ほどビードが収まったら、チューブレスバルブのゴムをまたぐようにして、ビードの残りの部分を落としこみます。(チューブレスバルブを境にリムセンターを左右に分けた時、右側のビードがすべてホイール右側のリムセンターに収まるようにします。)



2. バルブの反対側から、左側のビードを左側のリムセンターに落としこんでいきます。ビードをバルブ付近まで落としたら、もう一度ビードの収まりを確認しより多くのスペースを作り、できるだけタイヤレバーを使わずにビードの残りの部分を落とし込みます。この時左右のビードがチューブレスバルブのゴムを挟み込むようにします。(取り付けが困難な場合には Giant Tubeless System の専用潤滑剤を使用してください。)



### Giant Tubeless Ready WheelSystem にシーラントを注入する方法:

手順 1: 付属のバルブツールを使用し、バルブコアを外します。(図 4)

手順 2: ボトルをよく振りシーラント内の粒子を十分に攪拌させます。(図 5)

手順 3: 開いているバルブ本体からシーラントを注入します。推奨される量はサイズに応じて、タイヤ 1 本につき 30~60ml です。(図 6)

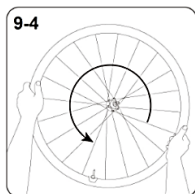
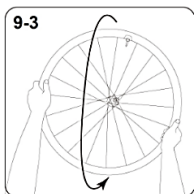
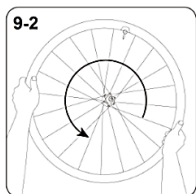
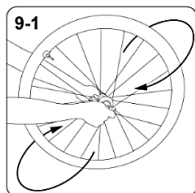
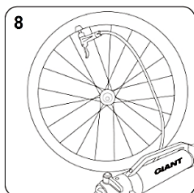
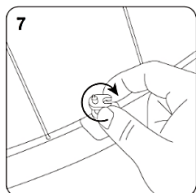
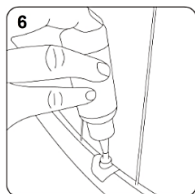
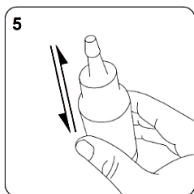
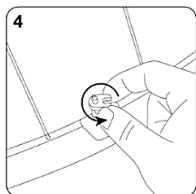
手順 4: 付属のバルブツールを使用し、バルブ本体にバルブコアを戻します。

バルブコアとロックナットがしっかり取り付けられていることを確認します。(図 7)

手順 5: タイヤに記載される推奨空気圧まで空気を入れます。(図 8)

手順 6: ホイールを手で回転させ、左右に優しく振り、タイヤ全周にわたってシーラントを拡散させます

手順 7: その後、空気圧が下がっていないことを確認し 5 分間は空気圧を下げずに維持してください。(図 9)



### ブレーキ:

重要: カーボンリムは低速でのブレーキング時に振動する事があります。

GIANT 推奨のカーボンリム用のブレーキパッドを使用して下さい。

他のパッドでは十分なブレーキ性能を発揮しないだけでなく、カーボンリムの過熱につながりカーボン繊維にダメージを与えます。

ラテックス製のインナーチューブはカーボンリムに使用しないでください。プレ

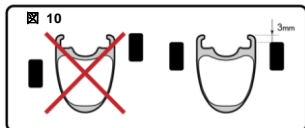
一キ時に発生する熱により、突然パンクする事があります

これらの指示に従わなかった場合、製品の保証が受けられないだけでなく、重傷または死亡にいたる重大な事故を引き起こす可能性があります。

推奨ブレーキパッドは、お買い上げのジャイアント正規販売店にお問い合わせください

1. ブレーキ、フレーム、フォークおよびホイールの互換性を確認してください。  
ブレーキと関連構成部品を取り付ける際はメーカーの推奨に従ってください。

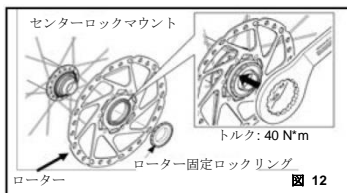
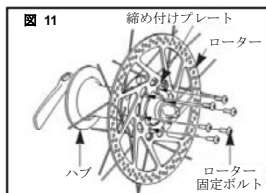
2. リムブレーキパッドを取り付け、調整するとき、リムの端から 3mm のところにパッドを配置してください。(図 10) リムの端に近いところに取り付けると、



連続してブレーキを使用したときに過熱したり、カーボン繊維が損傷する可能性があります。ブレーキパッドを不適切に調整した場合、保証の対象外となります。

3. 6 ボルトタイプのディスクブレーキローターの取り付けは図 11 をご覧ください。ローターの取り付けについては、ディスクブレーキメーカーの取扱説明書に従ってください。

4. センターロックタイプのディスクブレーキローターの取り付けは図 12 をご覧ください。ローターの取り付けについては、ディスクブレーキメーカーの取扱説明書に従ってください。



#### ▲ 注意:

- ディスクブレーキホイールにリムブレーキを取り付けないでください。
- リムは消耗品です。摩耗の程度を定期的に確認し、摩耗または損傷している兆候が現れたら、直ちにリムを交換してください。
- ブレーキは必ず前後のブレーキを同時に使ってください。下り坂ではブレーキを小刻みに掛けながら走ってください。ブレーキを強く掛けたまま走る

のは避けてください。リムが過熱しタイヤまたはチューブを損傷させる原因となります。

- リムが濡れている場合や、新しいホイールまたは新しいブレーキパッドを使用した場合は、ブレーキ力も低下します。状況に応じて危険のない運転を行ってください。

## メンテナンスとお手入れ

1. 製品の荷重制限 (ライダーの体重 + 自転車 + 荷物)

ロードバイク用 ホイール: 129 kg

マウンテンバイク用 ホイール: 136 kg

2. ホイールの保管

不適切な保管により、カーボンホイールが損傷する可能性があります。ホイールを吊り下げて保管しないでください (図 13)。



カーボン/アルミハイブリッドリムのカーボン部分は、構造上非常に柔らかい性質を持っています。損傷を防ぐため、輸送や保管の際には常に細心の注意を払い、この部分には外力を加えないでください。

- ▲ 注意: 車のラックにホイールを固定すると、想定外の力が加わり、ホイールが損傷する可能性があります。

3. 調整が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

スポーク張力とホイール精度は定期的に確認する必要があります。スポーク張力が不均一な場合、ホイール構成部品への負荷が大きくなり故障の原因となります。



4. ホイールに損傷がないか、定期的に確認してください。

リムまたはホイールの他の構成部品に損傷が生じた場合 (例えばリムに亀裂が生じた、スポークが折れた、ベアリングに緩みまたは遊びがある)、このホイールは使用しないでください。このような場合は、お買い上げの販売店にて、点検・整備を行ってください。

5. 万一の事故や落車の際には必ずお買い上げの販売店にてホイールに損傷があるかどうか確認してください。

6. 洗浄:

A. ホイールは柔らかいスポンジと適切な洗浄剤で頻繁に洗浄する必要があります。アセトン、精製油のような溶剤は使用しないでください。

B. ハブ: 前輪ハブおよび後輪ハブは、少なくとも年に 1 回メンテナンスする



必要があります。極端な条件下(例えば、強い雨、泥、雨中の運搬など)でご使用の場合、フリーボディおよびスターラチェットのメンテナンスをさらに短い周期で行う必要があります。ハブを定期的にメンテナンスすることで、ハブの寿命が延び、長期間最適な性能が維持されます。高圧洗浄機または洗浄剤を過度に使用すると、汚れがハブに混入する原因となります。また、有機溶剤は使用しないでください。

C. シーラント: 気密性とパンク修理機能を維持するために、下記の頻度でシーラントの状態を確認してください。

- ・ 2 か月おき: シーラント量の確認と補充。
- ・ 年 1 回: 柔らかく湿ったタオルを使って、古いシーラントまたは乾いているシーラントを拭きとり、タイヤの内部を清掃する。

**▲ 注意:** 走行前にタイヤの空気圧を確認し、タイヤ、ブレーキパッド、リムブレーキ面から、汚れおよびブレーキパッドの残留物(特にオイルまたはグリースの跡)をすべて洗い流してください。また、ブレーキパッドの摩耗の程度をチェックし、異物(砂粒、ほこり、油など)をすべて取り除いてください。ブレーキパッドが摩耗している場合、絶対に乗らないでください。毎走行前に、リムブレーキ面の摩耗を確認してください。最適なブレーキ性能を維持するため、ブレーキパッドが摩耗している場合は新しいものに交換してください。

**▲ 注意:** チューブレスタイヤで Giant Tubeless Ready WheelSystems を使用する場合、乗車前にタイヤを確認してください。大きなパンクが見つかった場合、タイヤを交換してください。

**▲ 警告:** カーボン製品の損傷を防ぐため、65°Cを超えるような高温下での保管や輸送は避けてください。高温下では、カーボン繊維同士をつなぎ合わせる樹脂に深刻なダメージを与える可能性があります。Giant では、カーボン製品を熱源から 45cm 以上離すことを推奨します。(例: 自動車のマフラー、ヒーター、暖炉といった強力な熱源のそばなど)。

## 品質保証

お買い上げいただきました製品について、当社取扱説明書にしたがった通常の使用状態で、製造上もしくは材料に起因する不具合がおこりましたときは、本証の記載内容により、ジャイアント正規販売店で新品の商品をご購入いただいたお客様にのみ、本規定に基づき修理・交換いたします。

この保証に基づいて弊社が行う債務は、弊社の選択により、製品の修理・交換もしくはそれに準ずるものに限られます。交換した部品などは弊社の所有になります。保証修理を受ける場合、お買い上げのジャイアント正規販売店で

製品本体と購入日を証明するレシートをご提示ください。

## 保証期間

2年

## 保証できない事項

1. 購入日の証明(レシート)がないもの
2. 通常の使用において自然に発生した摩耗および品質の劣化
3. ジャイアントが推奨しないブレーキパッドやタイヤを使用した際に発生する故障・破損
4. 想定されていない用途や環境での使用・衝突・落下ほか使用上の不注意、あるいは事故による故障・破損
5. メンテナンスおよび整備点検が不十分なもの
6. 改造、分解、または不適當な整備に該当するもの
7. 火災・地震・雪崩・公害など天変地異による故障・破損
8. 競技、またはそれに類する酷使、商用に使用されていたもの
9. 製品の運送中に起こった故障・破損
10. 製品の表面の仕上げ、美観、見栄えなどに生じた損傷や劣化
11. 一般に機能に影響のない感覚的現象(音、振動など)

RIDE LIFE. RIDE GIANT.

お近くのジャイアント正規販売店をお探しの際は弊社ウェブサイト  
[www.giant.co.jp](http://www.giant.co.jp) をご覧ください。